

一般財団法人天涯文化財団  
**2019年度(第2期)事業計画書**  
自2019年11月1日から 至2020年10月31日

## 1. 事業実施の方針

2019年6月11日(1)知多半島及び盛田家に由来する古文書、典籍等の保存展示、研究等に関する事業及び(2)知多半島及び盛田家が生んだ盛田昭夫の偉業を記念して、盛田昭夫に関する資料を収集し、保存するとともにその業績を永く後世に伝える事業を行い、学術、文化及び社会教育の向上発展に寄与することを目的として一般財団法人天涯文化財団を設立しました。第1期(2019年6月～10月)を事業基盤整備の期間とし、第2期(2019年11月～2020年10月)4月に盛田昭夫塾を開館し顕彰事業を開始するなど本格的に事業に取り組んで参ります。また公益を目的とする事業を適正に実施し公益増進を図るため公益認定申請を行います。皆様のご協力ご支援何卒よろしくお願い致します。

### ■今年度重点施策

1. 鈴溪資料館の整備及び古文書等の研究促進と成果発表の実施
2. 盛田昭夫塾開館及び展示、イベントの充実
3. 公益財団法人格の取得

## 2. 事業の実施に関する事項

- (1) 知多半島及び盛田家に由来する古文書、典籍等の研究、研究成果の公開
  - ・盛田家に残された近世初期からの古文書、典籍等を分類・整理し目録を作成する。(日本福祉大学知多半島総合研究所との協業により実施)
  - ・鈴溪資料館にて古文書、典籍等及びその成果を一般公開する。(常設展示に加えテーマごとの企画展示を随時開催、年1回愛知県内にて発表会を実施)
  - ・インターネット、SNSを活用し研究成果を世界に発信する。(国際空港隣接の常滑が海外からの文化・民族研究者が集まる場になることを目的とする)
- (2) 盛田昭夫顕彰事業
  - ・盛田昭夫塾を開館し、盛田昭夫に関する資料の収集、研究を行い、その成果を一般公開する。
  - ・盛田昭夫の残した文書、映像、品々、盛田昭夫に影響を及ぼした人々に関連するセミナー及びワークショップを行う。(盛田家15代当主に生まれながらソニー創業者となった盛田昭夫の生き様に触れられる「盛田昭夫塾」を開館。見るだけでなく「学べる場所」として未来人のパワースポットとなることを目指す)